

みやこ町図書館だより 2009秋

ふくろうの森通信

発行 2009年10月1日 第6号



夏休みのイベント～わくわくチャレンジ！

図書館では、この夏小学生を対象にしてさまざまなイベントを行いました。各図書館で行われた工作教室では、ランプシェードやびっくり箱作りなどに挑戦。みんな一生懸命に作品を仕上げました。また一日図書館員にもたくさんの小学生が応募してくれました。半日という短い時間でしたが、図書館の仕事を体験して、図書館をより身近に感じてくれたようでした。

この他に、中央図書館では「夏休みスペシャル映画会」と題して『ライラの冒険 黄金の羅針盤』『ブタがいた教室』の二本の映画上映を行いました。

夏 休 み チ ャ レ ン ジ 教 室

～ 工 作 教 室 ～



光と色の工作（犀川館）



びっくり箱をつくろう（中央館）



ねん土で貯金箱をつくろう（勝山館）

～ 一 日 図 書 館 員 ～



（勝山館）



（犀川館）



（中央館）

世界が読む日本文学

川端康成・大江健三郎のノーベル文学賞受賞によって外国での日本文学の評価の高さに驚きを感じますが、古典文学から明治・大正・昭和文学など、多くの日本文学が海外で翻訳されて読まれています。今では国内外で同時に発刊されるものもあるぐらいです。

古典

- 「源氏物語」(紫式部著)
- 「枕草子」(清少納言著)
- 「土佐日記」(紀貫之著)
- 「徒然草」(吉田兼好著)
- 「竹取物語」(作者不詳)



上記の他数多くの作品が英語、ドイツ語、フランス語など数多くの言語で翻訳されている。近年では中国などアジアでも多く読まれるようになった。

ちなみに当地出身の末松謙澄の英語訳の「源氏物語」(チャールズ・イー・タトル社)が2008年に再販されている。第1帖「桐壺」から第17帖「絵合」までを収録。

明治・大正

- 「舞姫」(森鷗外著)
- 「硝子戸の中(うち)」(夏目漱石著)
- 「痴人の愛」(谷崎潤一郎著)
- 「雪国」(川端康成著)
- 「羅生門」(芥川龍之介著)
- 「人間失格」(太宰治著)
- 「城の崎にて」(志賀直哉著)



代表的なものを挙げているが、彼等の他の作品もほとんどが、翻訳されている。当時活躍した小説家だけではなく、歌人、詩人の作品も世界に認められている。谷崎潤一郎はノーベル文学賞の候補にもあがった。1964年には日本人では初めて全米芸術院・米国文学芸術アカデミー名誉会員に選出された。

現代では

川端康成のノーベル賞受賞以来、日本文学への関心は世界中で更にたかまった。大江健三郎の受賞も含めて度々日本人作家の名前が候補にあがるようになってきた。世界中で高い評価を受けている村上春樹・吉本ばなな。特に村上春樹は「ハルキセデ(春樹の世代という意味)」ということばがあるくらいである。

フランスなどでは大江健三郎、安部公房、三島由紀夫など、文学色の強い作家が好まれているように思われる。また桐野夏生はアメリカのエドガー賞にノミネートされた。ロシアなど東欧圏では星新一の人気の高い。韓国の若者達は日本文学を自国の文学と同じ感覚で読んでいるようである。現代では著名作家だけではなく、多くの作品が世界で愛読されている。

絵本

海外で人気のある日本の絵本は

- 「11ぴきのねこ」シリーズ(馬場のぼる作)
- 「14ひきの」シリーズ(岩村和朗作)
- 「かんがえるカエルくん」(岩村和朗作)
- 「みんなうち」(五味太郎作)
- 「だるまちゃん」シリーズ(加古里子作)

特に韓国では日本の絵本の人気が高く「りんごがドスーン」(多田ひろし作)や「おならばんざい」(福田岩緒作)、「くれよんくろくん」(なかやみわ作)など数多くの絵本が出版されている。

現代日本文学の翻訳・普及事業

この事業は現代の日本文学を世界に知ってもらうため、「読ませたい」ではなく、現地の人が「読みたい」作品をとという趣旨で文化庁が2002年から行っているものである。

仏、独、露の海外委員会の推薦を受け国内の選定委員会の推薦も含めてこれまで4回の選定委で106作品が選ばれた。

現在このうち64作品が英、仏、独、露の他、複数の言語に翻訳され出版されている。

4回目には選ばれたのは

- 「八犬伝 上・下」山田風太郎 廣済堂出版(1998)
- 「GO」金城一紀 角川出版(2007)
- 「逃亡くそたわけ」絲山秋子 講談社(2007)
- 「硝子戸の中(うち)」夏目漱石 新潮社(2000)

他12作品

参考資料

国立国会図書館リサーチナビ

http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-ho-nbun-101113.php

現代日本文学の翻訳・普及事業

<http://www.yomiuri.co.jp/book/news/20080617bk01.htm>

日本留学総合ガイド

<http://www.studyjapan.go.jp/mm/ffs/008/jp/index.html>

図書館司書おすすめ チェック本

『カモシカとしょかん』

魚背ゆうこ（文） 水上悦子（絵） 桂書房



日本一小さな自治体富山県舟橋村で、実際に起きた出来事をヒントにした絵本です。

図書館の10周年のお祝いに集まる子供たちと自分もお祝いしようとニホンカモシカのカーモくんは図書館の中へ。(2009刊)

『プリンセス・アカデミー』

シャノン・ヘイル（著）代田亜香子（訳）

小学館



エスケル山の小さな村に住む女の子ミリ。ある日、国王の使いがやってきて、この村から王子の花嫁が選ばれると宣言した！ミリのほか、村の女の子20人がプリンセス・アカデミーに集められ、厳しいお妃教育が始まる。

そのなかで、文字も読めなかったミリが学ぶことに目覚め、考えたことは・・・？(2009刊)

『トーマの心臓』

森博嗣（著）萩尾望都（原作）メディアファクトリー



ユーリに手紙を残して死んだトーマという美しい下級生。彼はなぜ死んだのか・・・

その事件の動揺が学校中に広がる中、オスカーは同室のユーリの変化に気づいて、探ろうとするが・・・萩尾望都の名作コミックを森博嗣が小説化。(2009刊)

『太古の森へ』

美輪裕子（著）川村みずえ（絵）小峰書店



いじめられて辛かった小学校。その小学校を卒業したばかりの千沙は、父とニュージーランドのミルフォードトラックを歩くことにした。ところが父は、突然知り合いの男の子を道づれにした。結局男の子とふたりで森を歩くことに。(2001刊)



（質問）雛人形の内裏雛の位置が関東と関西で違うようだが、その理由を調べたい。

（回答）『図解日本のしきたりがよくわかる本』（PHP研究所）に「関西では向かって左が女雛、右が男雛で、関東ではその逆になる。」という記述があるが、その理由については書かれていなかった。『冠婚葬祭・年中行事のなぜ？』（ダイヤモンド社）に「古くから、左手が上位とされたため、向かって右が男雛というのが慣例」とあった。しかし、「昭和3年の昭和天皇御大典の際、西洋風に向かって左側に立たれたため、東京の雛人形卸商組合が、それにならって内裏雛の左右を変え、男雛を左側に置くようになり、以後全国的に広まった。ただ、京都では、普通の飾り方を現在も行っている。」とあった。



10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※勝山図書館は蔵書点検のため10/6～10/10まで休館します

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※12/1は11/30が月曜のため休館します
 ※12月28日(月)から1月4日(月)まで休館します

開館時間 : 10時から18時まで
 休館日 : 毎週月曜日・毎月末(この日が月曜日の場合翌火曜日)

お問い合わせ

- みやこ町中央図書館
みやこ町豊津 1122-12 ☎33-1040
- みやこ町犀川図書館
みやこ町犀川古川 50 ☎42-3330
- みやこ町勝山図書館
みやこ町勝山黒田 86-1 ☎32-3455

ホームページアドレス

<http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.jsp>

本のある風景

ひょうまんてい
 瓢鰻亭・ひまわりこども

瓢鰻亭は書店・喫茶・ギャラリーのほか様々な活動を行っている場所です。定期的に行う「ヤングアダルトの本を楽しむ会」や「絵本の会」をはじめ、不定期に子どもたちに本を紹介したり、よみきかせなどをしています。また、月に一度、幼稚園や保育園に出向いて、よみきかせを行っています。中学校や高校では、よみきかせのコツを教えたり、表現活動の実演講習を行ったりしています。こうした活動を通じて、赤ちゃんから大人まで多くの方が本とふれあう機会がもてるよう、はたらきかけをしています。



声

このコーナーでは、利用者の皆さんからよくある質問をご紹介します

ブックリサイクルってなあに？

ブックリサイクルとは、図書館で役目を終えた本を希望者に無料で配布するイベントです。みやこ町図書館のブックリサイクルは毎年秋に行っていて、保存期限の過ぎた雑誌や、除籍となった図書などが出されます。

今年は11月1日(日)から始まり、無くなり次第終了です。お一人様5冊までお持ち帰りいただけます。思わぬ掘り出し物に出会えるかもしれません。ぜひ足を運んでみてください！

※ブックリサイクル資料の予約・お取り置きは出来ませんのでご了承ください。

編集後記
 やっと、爽やかな秋がきた、さあ、夏の疲れを癒そうという時期なのですが、今年はずっとと違っていました。秋と一緒に新型インフルエンザが猛威を振るいだしました。みなさん、とりあえず手洗い、マスク、うがい等で対策をたてましょう。今回は外国で読まれている日本文学の特集です。まだ、読んだことがない本があるので、これを機会に読んでみようと思っています。(有)

